

## 4. とちぎの山からどのくらい丸太（素材）が作られているの？

素材の年間生産量は約47万m<sup>3</sup>です。

統計書44、46ページ

素材とは、山に立っている木を伐採して運び出した、樹皮などがついたままの丸太のことです。素材の年間生産量は全国で12番目となっています。

競泳用の50mプールでたとえると、  
約190杯分だよ。  
(50m×幅2.5m×深さ2mとして)  
栃木県の素材は、約9割が製材工場で柱や梁（はり）などに加工されるよ。



とちもりく



山から運び出される丸太（矢板市）



木材共販所（矢板市）

## 5. 建物に使われる木材はどのくらい作られているの？

建築用材の年間出荷量は約26万m<sup>3</sup>です。

統計書47ページ

主にスギやヒノキなどの針葉樹林から、家を建てるための柱や梁（はり）などの木材（建築用材）が生産されています。



製材工場（那須塩原市）

木造住宅



とちもりく

1年間に木造住宅約1万1千戸分の  
建築用材を出荷しているよ。  
(木造住宅1戸24m<sup>3</sup>として)  
※出典：平成23年版森林・林業白書

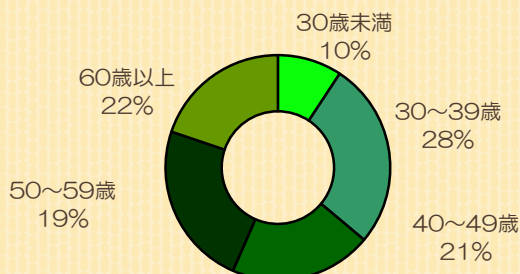
## 6. 山で働く人はどのくらいいるの？

森林組合の林業従事者数は約310人です。

統計書81ページ

森林組合は、山の手入れの仕事をしたり、森林に関する相談に応じてくれる団体です。森林組合の林業従事者の平均年齢は47.0歳です。平均年齢は10年前と比べると下がってきており、若い人材の割合が増えてきています。

〈森林組合林業従事者の年齢階層別割合〉



山で働く人（日光市）